



【企業向け:オンラインセミナー】

3/22(金)

農業サプライチェーンにおける
責任ある水管理の世界的先進取
り組み紹介

—ドイツ大手スーパーEDEKAの事例—



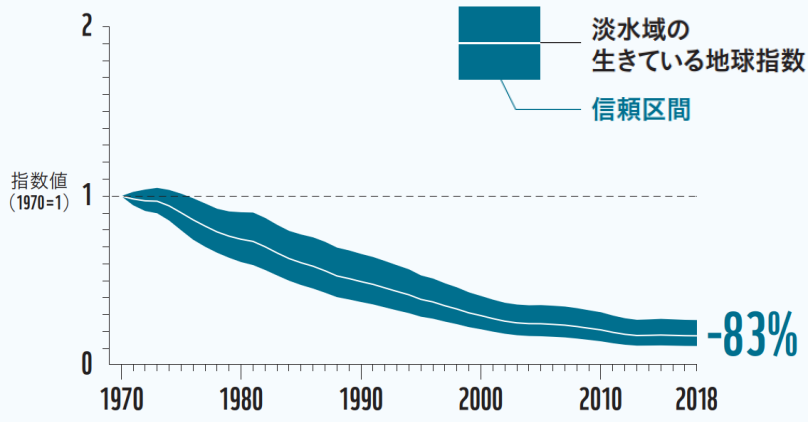
冊子(全24P)のご案内

- 地球規模で見る「水」の課題
- 企業にとっての水リスクとは？
 - 水リスクへの意識を広げる視点01：
自社拠点から流域へ
 - 水リスクへの意識を広げる視点02：
自社からサプライチェーン全体へ
 - 水リスクへの意識を広げる視点03：
国内から海外へ
- 輸入による日本の水リスクの概要をつかむ
- Call to action

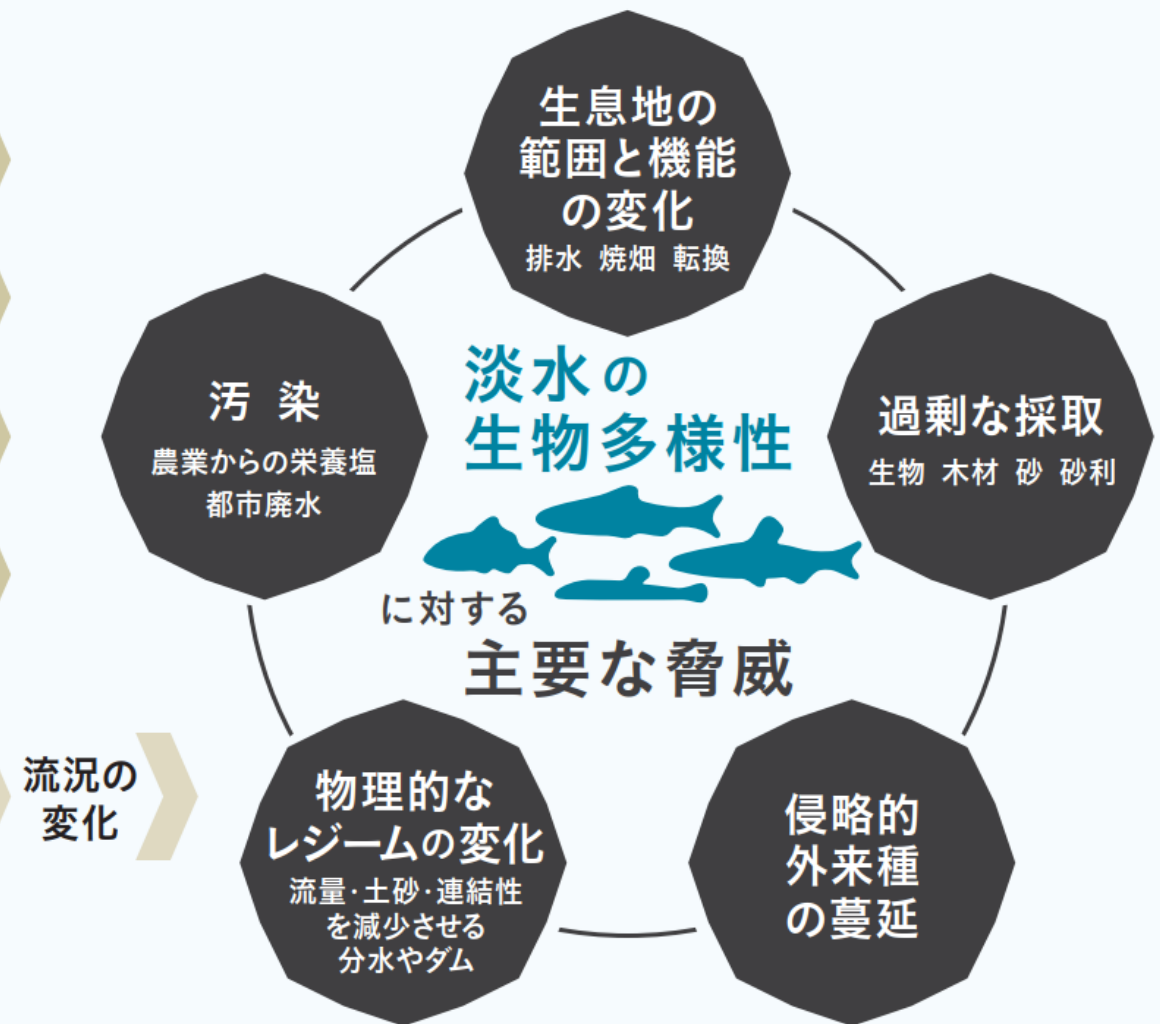
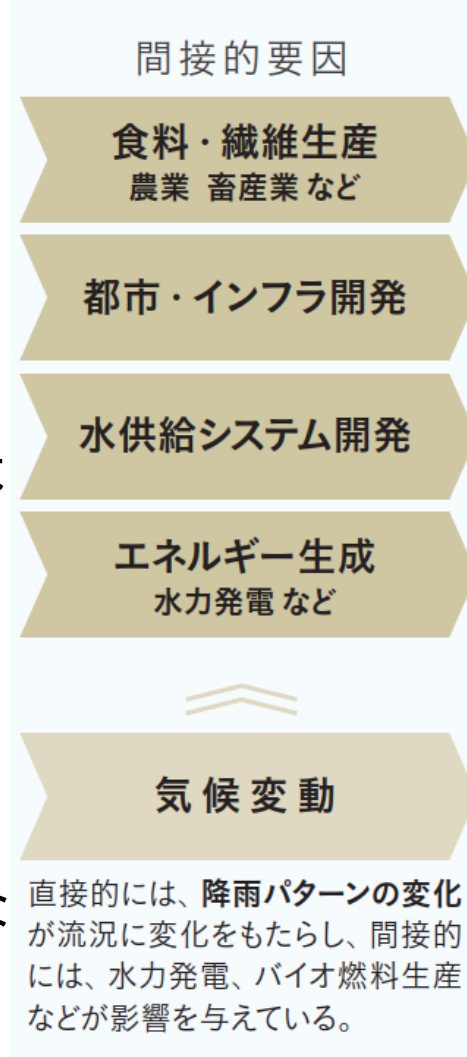
作成の背景



淡水生態系の劣化とその要因



- 淡水域が地表全体に占める割合は1%未満だが、人類の半数以上が淡水域から3キロ以内に。
- そのため淡水域で、生物多様性の減少につながるさまざまな問題が起きやすい。
- 間接的要因として食料・繊維生産などの水需要の増加も加わり、事態はより複雑で深刻になると予測。



“WWF (2020) A DEEP DIVE INTO FRESHWATER, P8” をWWFジャパンが改変

菜種と干ばつ



2 カナダの生産・輸出動向

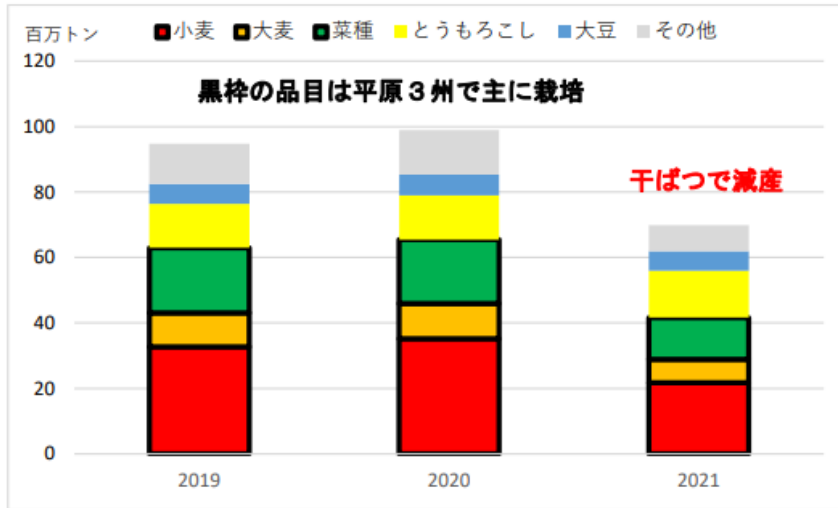
(1) 生産動向

カナダ統計局が9月14日に公表した「Model-based principal field crop estimates, August 2021」によれば、カナダ西部の7月の深刻な干ばつにより、2021/22年度の穀物等の生産量は、西部のプレーリーと言われる平原三州（アルバータ州、サスカチュワン州、マニトバ州）で栽培されている小麦や菜種などを中心に大幅な減産が見込まれている。

特に小麦は、前年度比 38 % 減の 2,170 万トン、うち、春小麦は、同 41%減の 1,530 万トン、デュラム小麦は同 46 %減の 350 万トンとなっている。大麦は、前年度比 34 %減の 710 万トンであり、菜種は同 34%減の 1,280 万トンと 2010/11 年度以来の低水準となっている。

一方、オンタリオ州やケベック州などカナダ東部では、西部と異なり生育期に降雨があった。そのため、東部で主に栽培されている大豆は、前年度比 7 %減の 590 万トンとなるも、とうもろこしは 1,440 万トンと前年度より 6 %増産が見込まれている。

図2 カナダの穀物等生産量の推移



資料：カナダ統計局「Model-based principal field crop estimates」(2021.9)

- 菜種は、カナダの輸出シェアが最も高く、世界貿易の約6割を占めているが、2021年、干ばつによる被害を受け輸出量が大幅に減少した¹。加えて世界的に穀物需要やバイオ燃料の需要も増大したため、国際相場が約2倍に高騰した。
- 日本の油脂メーカーは、原料費高騰による価格改定を発表²し、食品製造や飲食業界にも影響が波及した。

1 農林水産省, 2021 『食料安全保障月報』 https://www.maff.go.jp/j/zyukyu/jki/j_rep/monthly/attach/pdf/r3index-64.pdf

2 2021 「菜種 価格高騰止まらず 国際相場、1年で2倍に 需給ひっ迫の懸念強まる」 『食品新聞』, 2021.12.27 <https://shokuhin.net/50645/2021/12/27/kakou/yushi/>

改めて水に注目が集まる



UN
2023 WATER
CONFERENCE

NEW YORK
22-24
MARCH
2023

①2023年3月22-24日

国連水会議の開催

5つのアジェンダ：健康のための水、持続可能な開発のための水、気候・レジリエンス（強靭性）・環境のための水、協力のための水、水の国際行動の10年

③グローバルリスク報告書2024
（世界経済フォーラム）

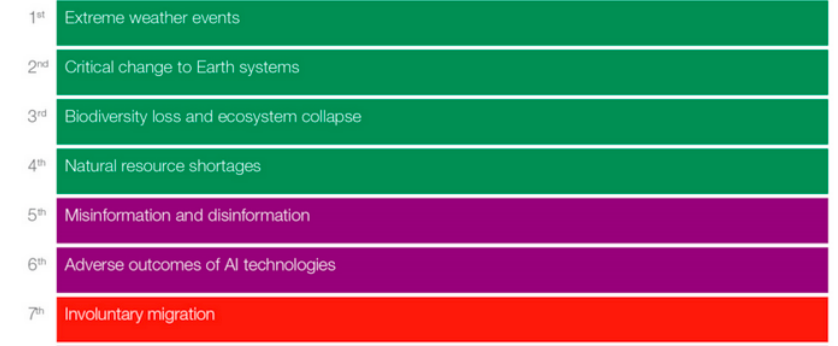
Global Risks Report 2024

Top 10 Risks



"Please estimate the likely impact (severity) of the following risks over a 10-year period"

10 years



今後10年間のリスクトップ4は、異常気象、地球システムの危機的変化、生物多様性の損失と生態系の崩壊、天然資源の不足。



FOOD, AGRICULTURE, AND WATER

10 DEC

Action around agri-food and water systems.

This day spotlights innovation investment, regenerative agriculture, and national transformation pathways, supported by financing and project preparation. Water programming covers freshwater restoration and conservation, infrastructure for urban water resilience, and integrated governance and management of waste food systems.

[→ View events on this day](#)

②2023年12月10日

国連気候変動枠組条約締約国会議（COP28）

食料・農業・水デーの開催

冊子制作の目的と想定する読み手



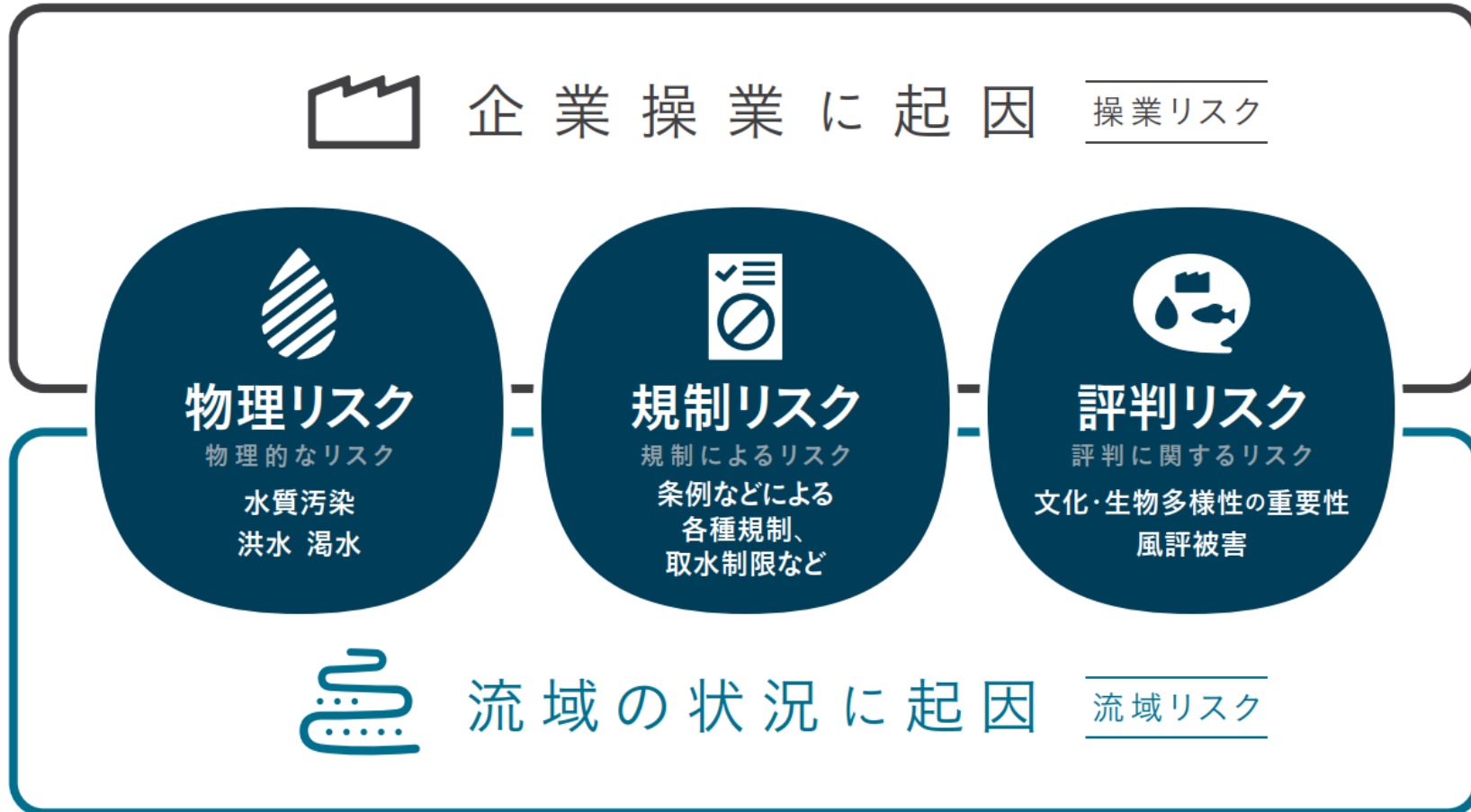
➤ 目的

- 水に戦略的に取り組むべきか/マテリアリティとして取り扱うべきか、悩んでいる日本企業が、内部で検討・調整する基礎資料として活用すること。
- マテリアリティに水を含めている日本企業が、NGOからみた持つべき視点を知ること。
- 水に関心の高い日本企業が、NGOからみた日本企業に求めることを知ること。

➤ 想定している読み手

- 日本企業のサステナビリティ部局の担当者
- 日本の金融機関の担当者

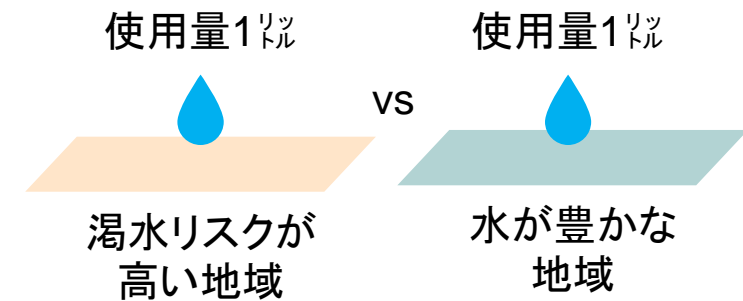
水リスクをどのようにとらえるべきか



これらのリスクをサプライチェーン全体で考える必要がある

- どこで（流域リスク）、どのようなビジネスを行っているか（操業リスク）、という2側面が重要

◆水使用量で考えた例



- 地域の環境や暮らしにかかる負荷は異なる。

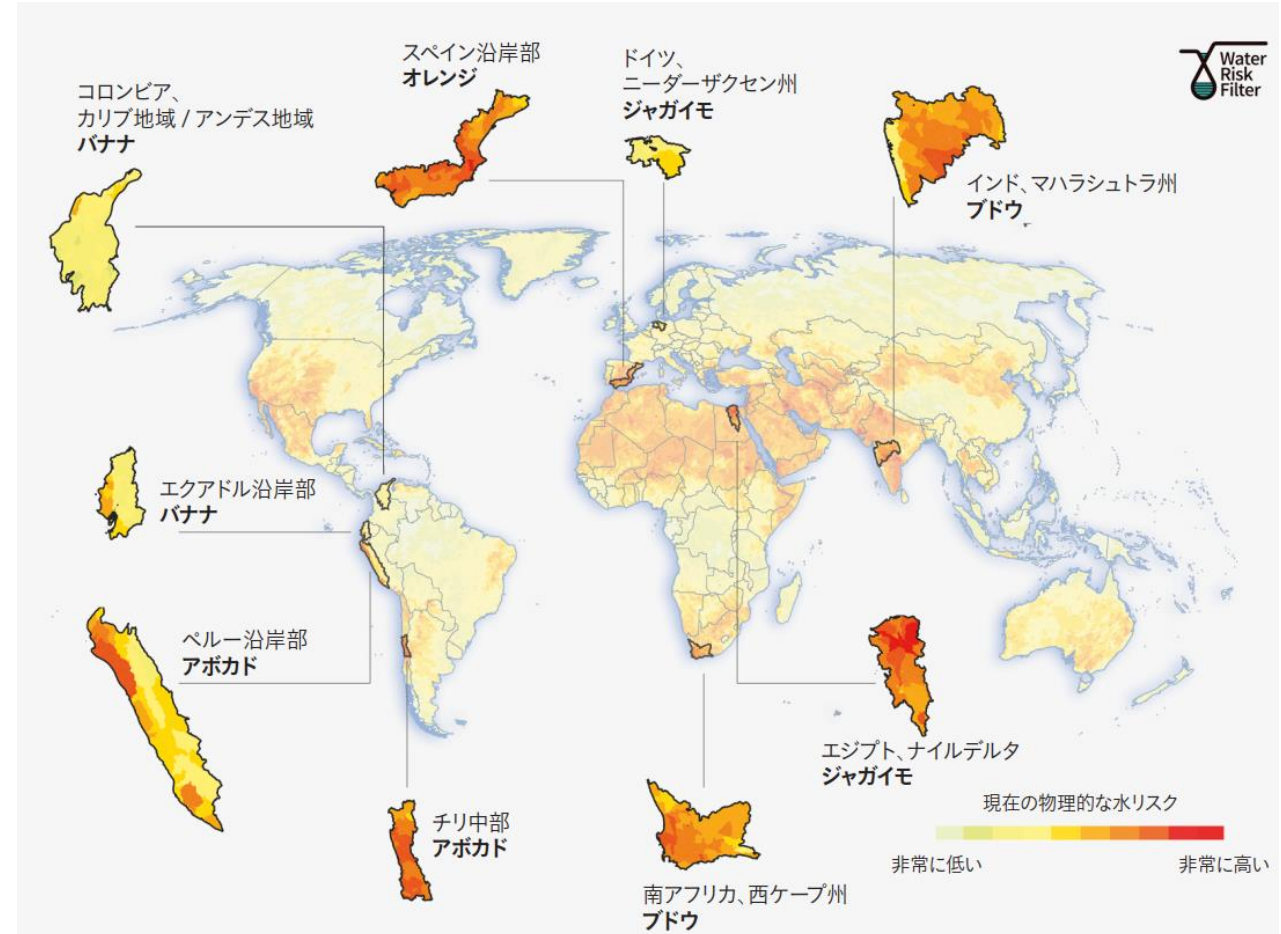
「水」の取り組みで、企業に求められること



【1】将来の水リスクを分析・評価し、重要な拠点を特定する

【2】特定された重要な拠点や流域において、責任ある水利用管理を始める

- 上記【1】で特定した重要な拠点で、まずはAWS認証など活用しながら現場での取り組みを開始
- 流域でのコレクティブアクションに取り組みを発展



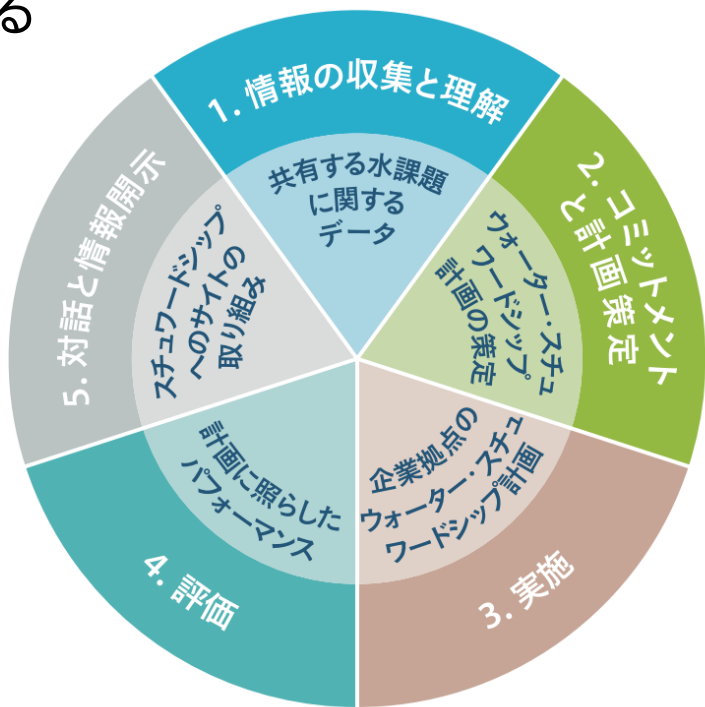
【1】事例：ウォーター・リスク・フィルターによるドイツの主要農産物調達地の流域における現在と将来の水リスク分析図

AWS認証



◆ AWS認証とは

拠点レベルの責任ある水利用管理において重視される5つのステップが満たされていることを証明する



AWS規格の5つのステップ。企業拠点で取り組むための最初の「手順書」となる

◆ 5つの目指す成果



適切な水資源がバランス



持続可能な水収支



適正な水質



水資源に関連する重要区域



WASH

◆ NGO、企業、政府機関、専門組織が集う

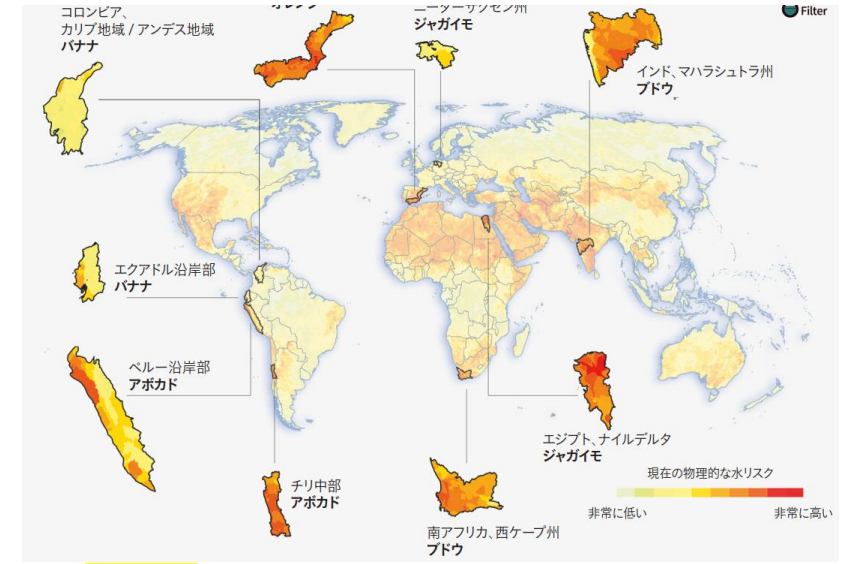
| 水に取り組むNGO | 水を重視する企業 | 政府機関 | 水分野の専門組織 |
|-----------|----------|------|----------|
| | | | |

頂いたご意見をもとに、今回セミナーを企画



2023年12月に開催したセミナーで頂いたアンケートの結果

- もう少し事例を紹介してもらえると、わかりやすい。
- 水目標の設定や対応事例の紹介。
- 指標と目標の掲げ方について扱っていただけると嬉しいです。
- 気候リスクと水リスクは連動している部分は多いながら、なかなかその相関が見え辛く、対応がばらばらになりがちだと思う。気候と生物多様性の関係のように、もう少し関連付けられないか知りたい。
- 具体的な水リスク対応事例の説明。
- 生物多様性の担当で、水リスクおよび気候変動の担当は別にいる。将来的に水担当も兼任する可能性がある。
- 水リスクの因果関係を10歳でわかるような説明が欲しいと思いました。（社内向けにです）



WRF: 具体的な重要な場所の絞り込み



AWS認証:
具体的な重要な場所での取り組み